

医療勤務環境改善マネジメントシステム 普及促進トップセミナー

平成28年2月22日（月）@東京

【勤務環境改善に向けた取組③】

看護職の ワーク・ライフ・バランスと 病院経営



社会福祉法人 聖隷福祉事業団 執行役員
聖隷三方原病院 総看護部長

吉村 浩美



概要 実績

- ◆地域医療支援病院
- ◆高度救命救急センター
- ◆地域がん診療連携拠点病院
- ◆地域周産期母子医療センター
- ◆認知症疾患医療センター
- ◆病床数 934床(一般810床、精神104床、結核20床)
一般:ホスピス27床、医療型障害児入所施設170床 ※2015年4月

2014年度実績

◆病床利用率	80.6 %
◆外来患者数	1,179 人/日
◆入院患者数	753 人/日
◆手術件数	6,658 件
◆救急車搬入患者数	5,242 件
◆救急患者数	16,407 人
◆分娩件数	867 件
(助産所分娩)	179 件)



幅広い領域

2015年3月
高度救命センター
指定



高度救命救急センター／ドクターヘリ

最期までその人
らしくあるように



聖隷ホスピス

2015年2月
1000人目の
赤ちゃん誕生！



院内助産所「たんぽぽ」

個の尊厳を護り、
質の高い生活を
提供します



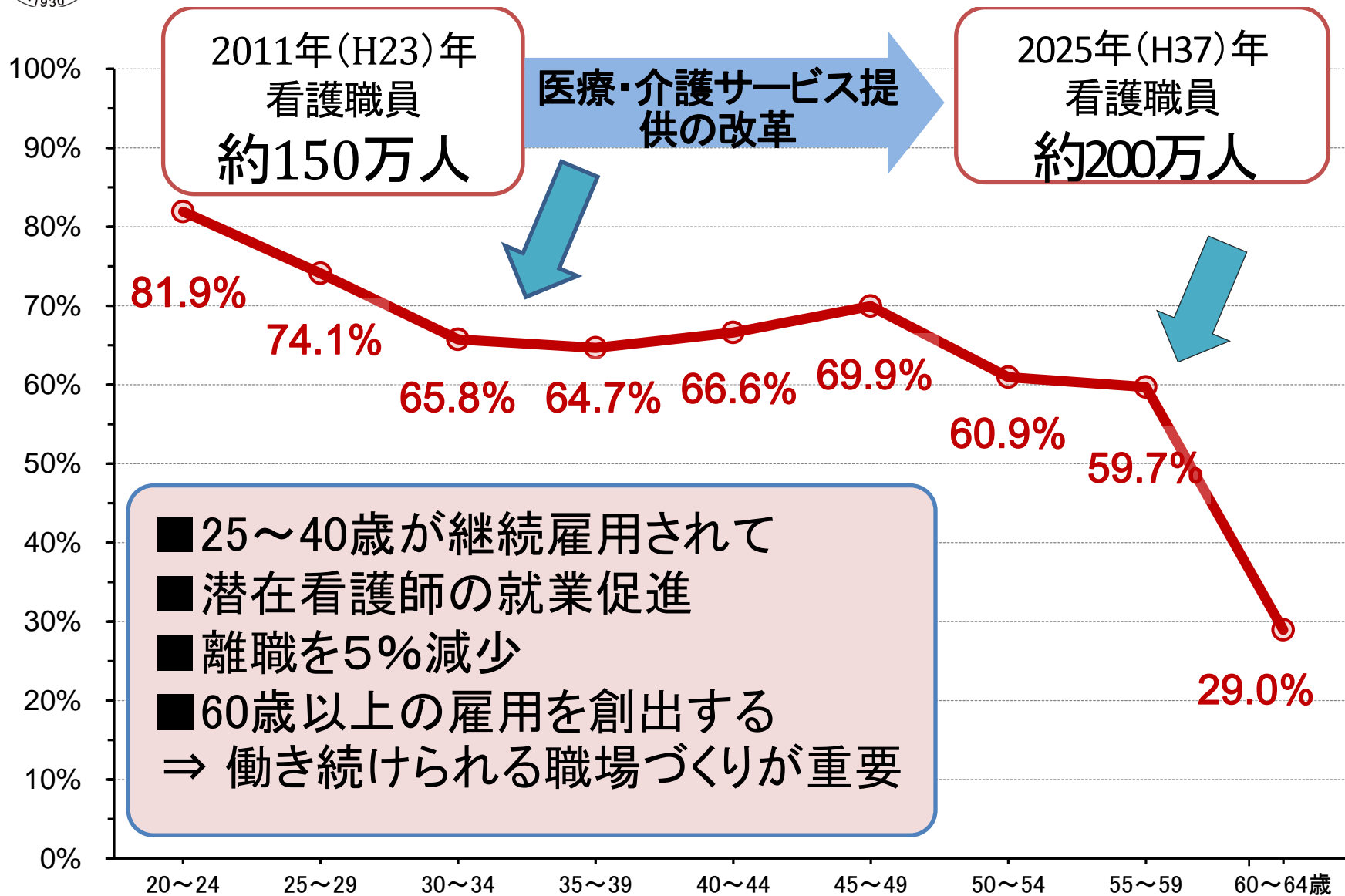
おおぞら療育センター



1. 看護職の労働環境

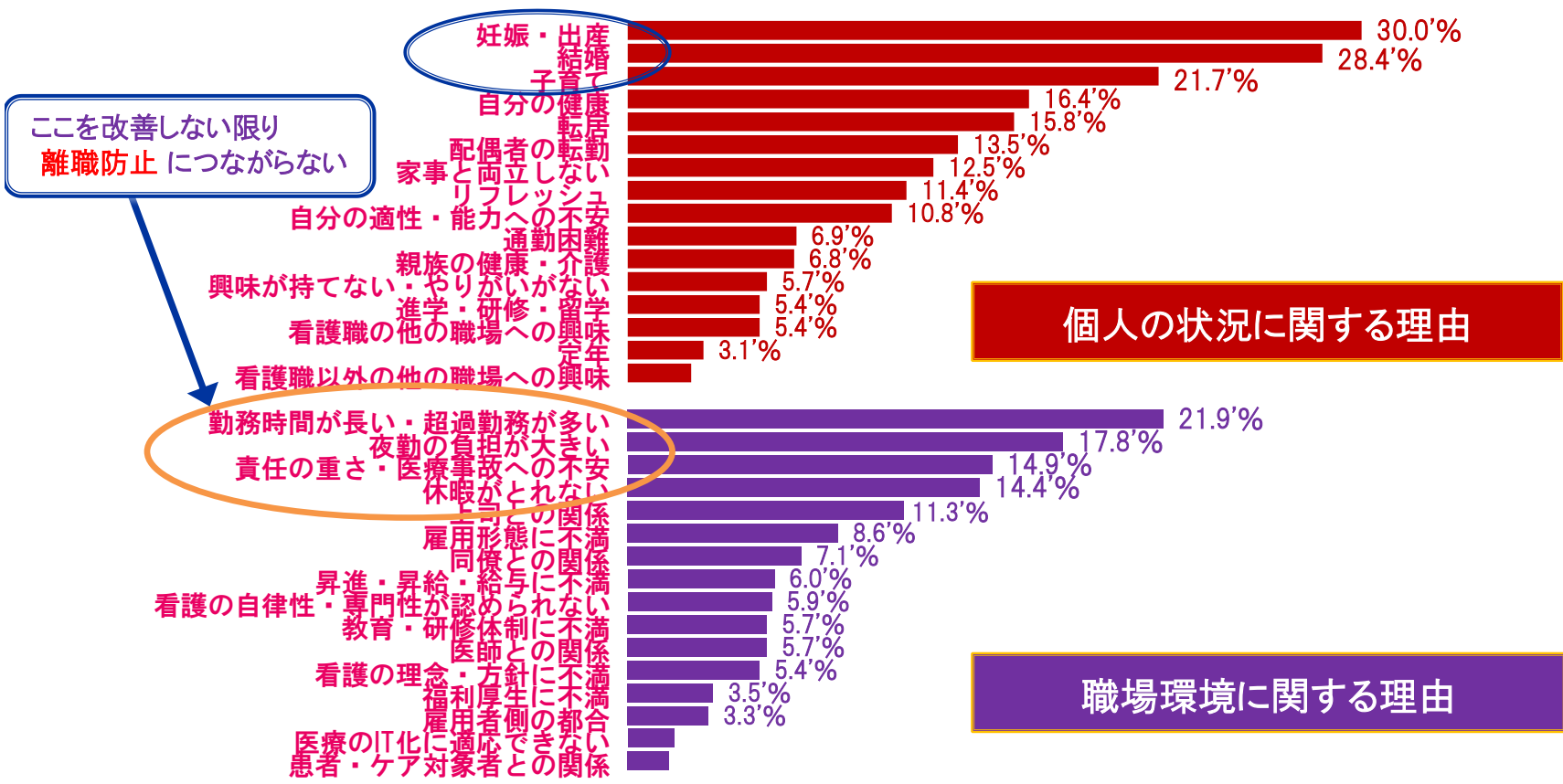


看護職員の年齢階層別就業率





離職理由：長時間労働と夜勤負担



ここを改善しない限り
離職防止につながらない

個人の状況に関する理由

職場環境に関する理由

- 潜在看護職の離職理由 / 離職(潜在化)の理由は 2種類
- ① 個人の状況 「妊娠・出産」「結婚」「子育て」
 - ② 職場環境 「勤務時間が長い・超過勤務が多い」「夜勤の負担が大きい」「休暇がとれない」など



夜勤・交代制勤務ガイドライン

- | | |
|----------|--------------------|
| ①勤務間隔 | ▪ <u>11時間以上あける</u> |
| ②拘束時間 | ▪ 拘束時間は13時間以内 |
| ③夜勤回数 | ▪ 3交代は月8回以内 |
| ④連続夜勤回数 | ▪ <u>2連続まで</u> |
| ⑤連続勤務日数 | ▪ 5日以内 |
| ⑥休憩時間 | ▪ 1時間の休憩 |
| ⑦夜勤時の仮眠 | ▪ 夜勤の途中で連続した仮眠時間 |
| ⑧夜勤後の休息 | ▪ 1回の夜勤後24時間以上あける |
| ⑨週末の連続休日 | ▪ 月1回以上 |
| ⑩交代の方向性 | ▪ <u>正循環の交代周期</u> |
| ⑪早出の始業時刻 | ▪ 7時前は避ける |



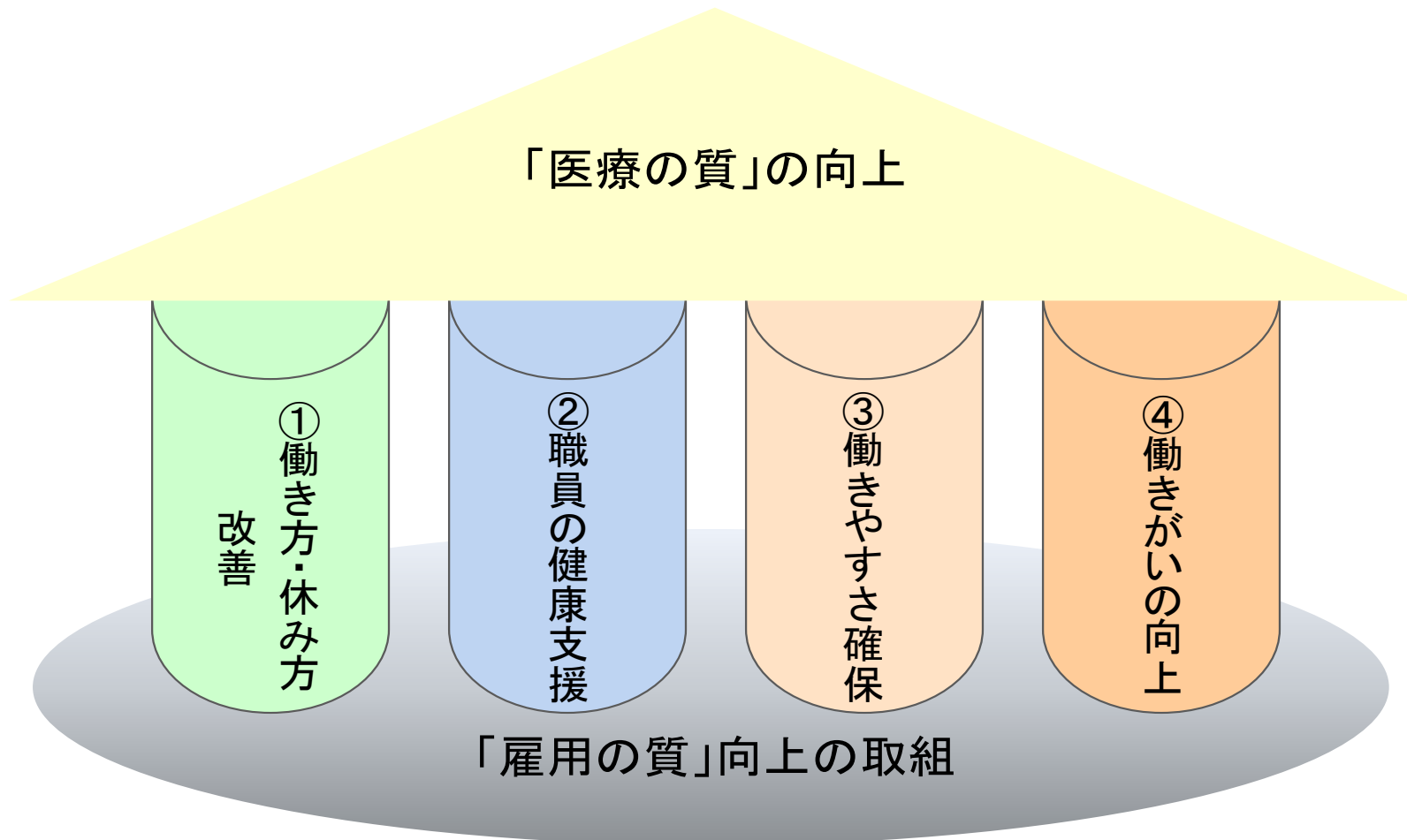
赤字： 聖隷三方原病院において整備済み

下線： 2016年度診療報酬改定(案) 夜間看護体制の充実に関する評価



勤務環境改善マネジメントシステム

雇用の質向上のための4つの領域





II. 看護職のWLB推進 によって得た効果と経営



WLB実現にむけて聖隷三方原病院の取組

働き方・ 休み方改善

- 時間外労働の削減
- 夜勤交代制勤務表作成基準の改訂
- 有給消化促進
- 多様な勤務形態

健康支援

- 職業感染 針刺し予防／予防接種／メンタルヘルス
- 長時間労働対策
- 夜勤回数^の是正

働きやすさ 確保

- 院内保育園／育児支援／ワークシェア制度
- 夜勤専門看護師制度
- 柔軟な応援体制
- 看護補助者の増員／他職種連携

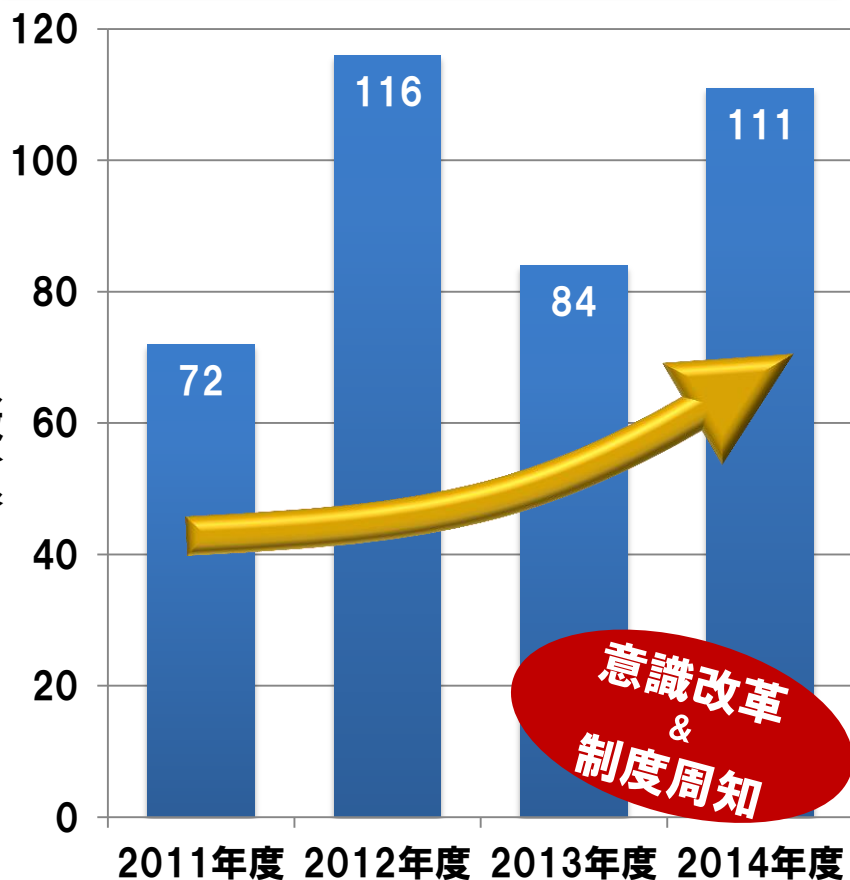
働きがいの 向上

- 専門・認定看護師休職奨学金制度／役割手当
- チャレンジな組織参画 他職場・在宅研修
／画期的な物品導入



働き方・働きやすさの向上

制度(育児短時間・ワークシェア)利用者数



夜勤専門取得者延べ数

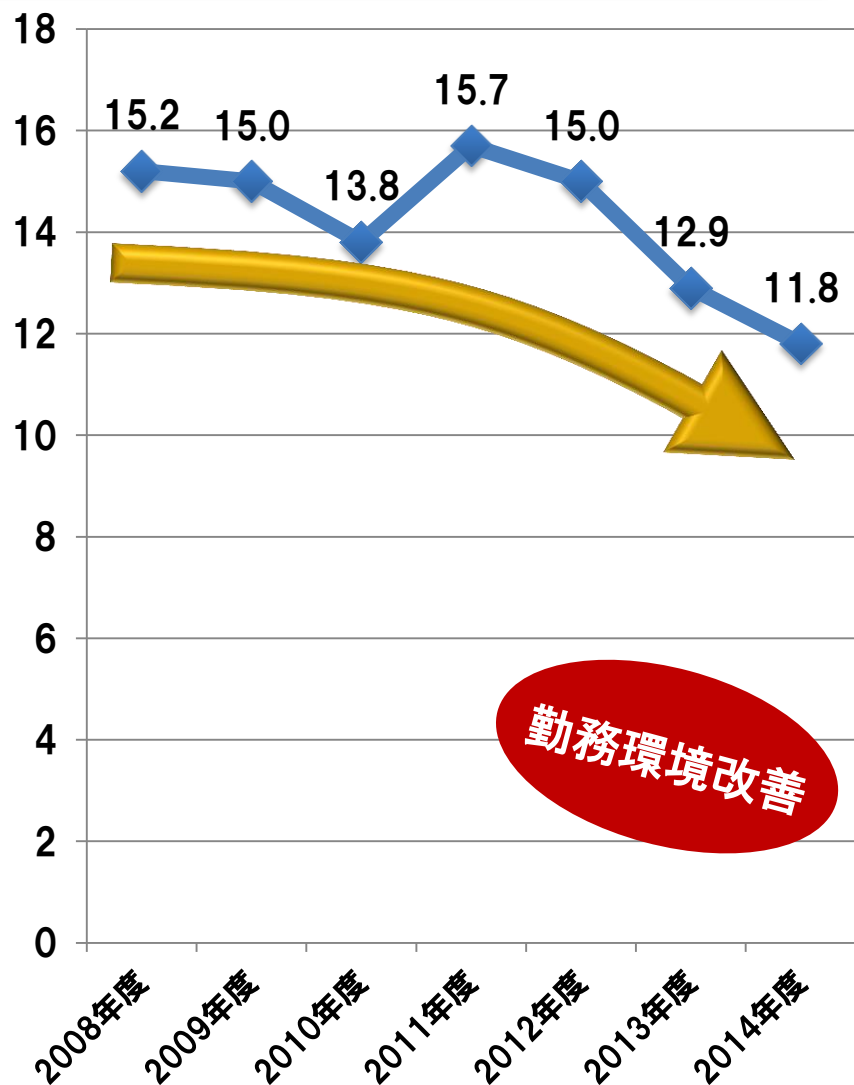


制度の活用により、
有子率は31% (2008年度) ⇒ 42%へ向上 (2013年度)

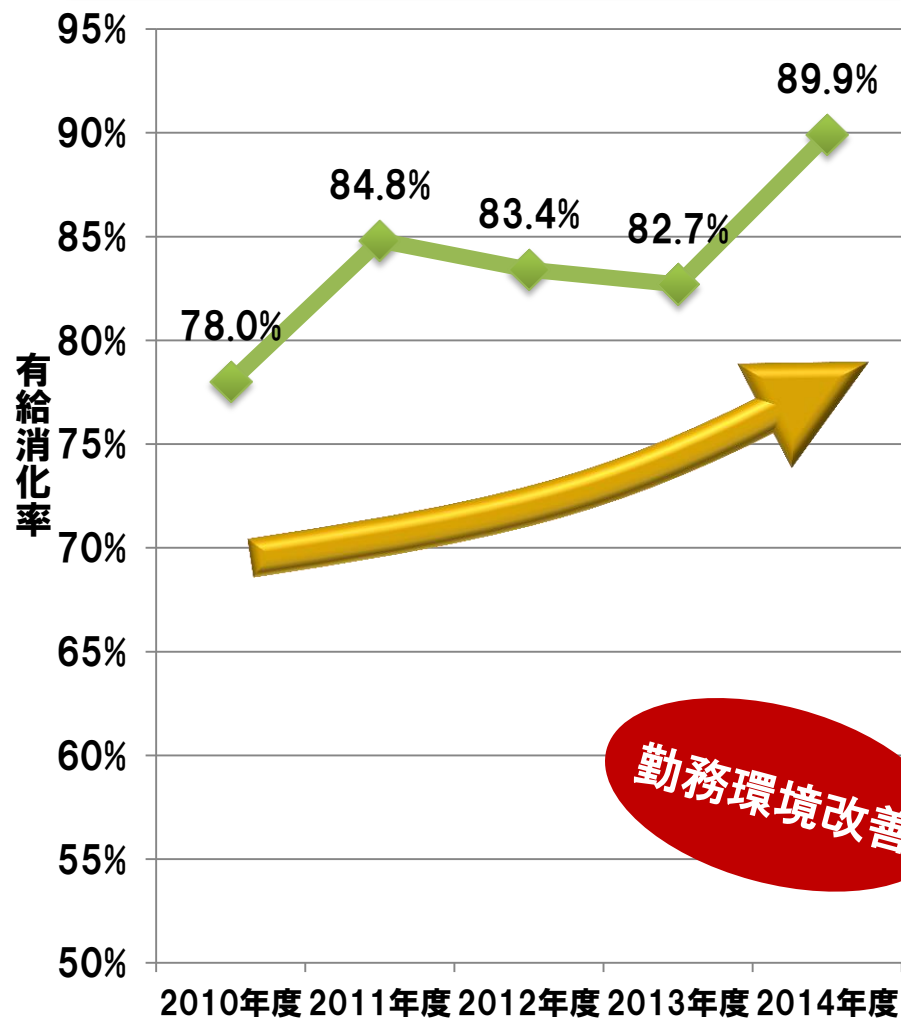


取組の成果(看護)

1人あたりの超過勤務時間

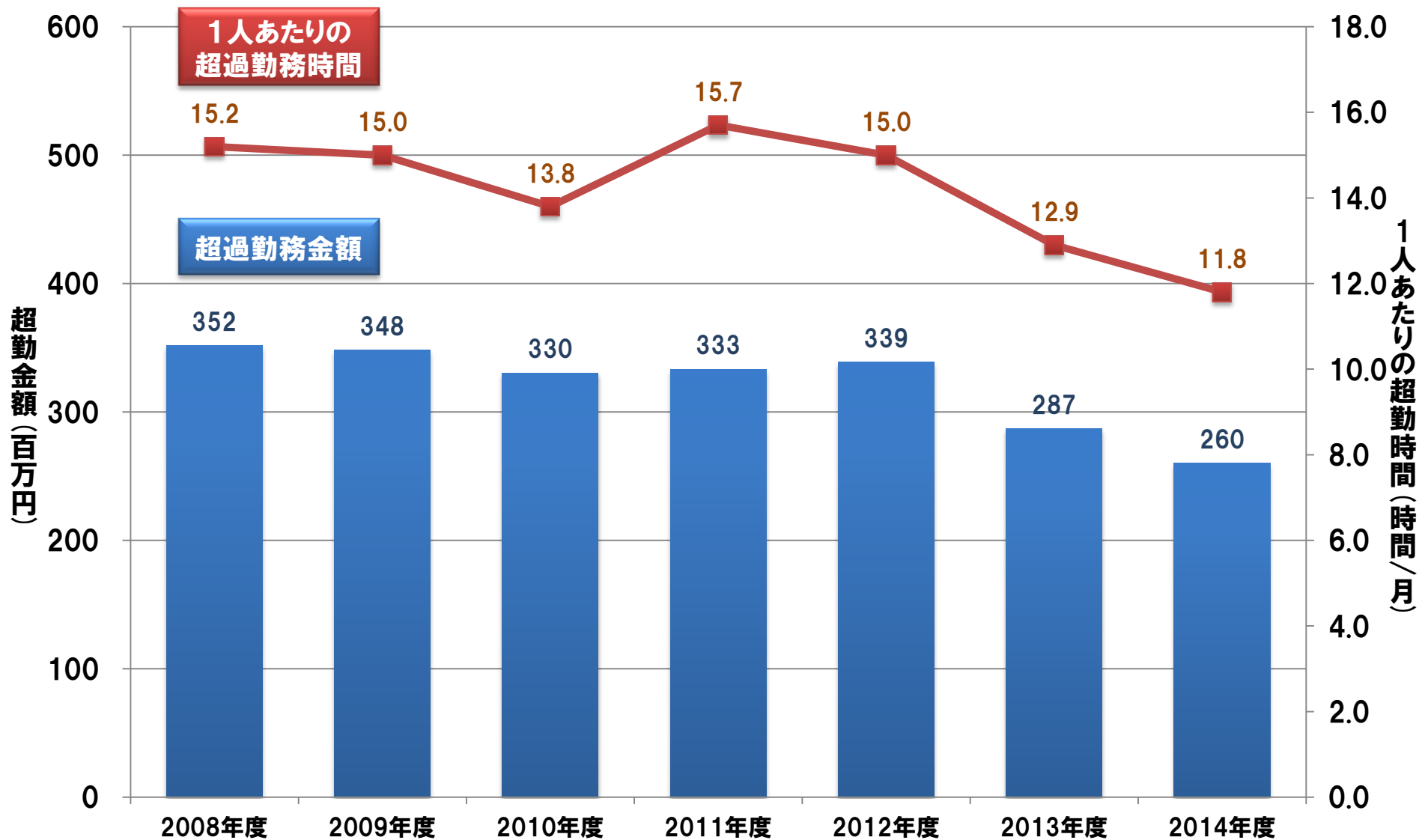


有給消化率





超過勤務時間・金額

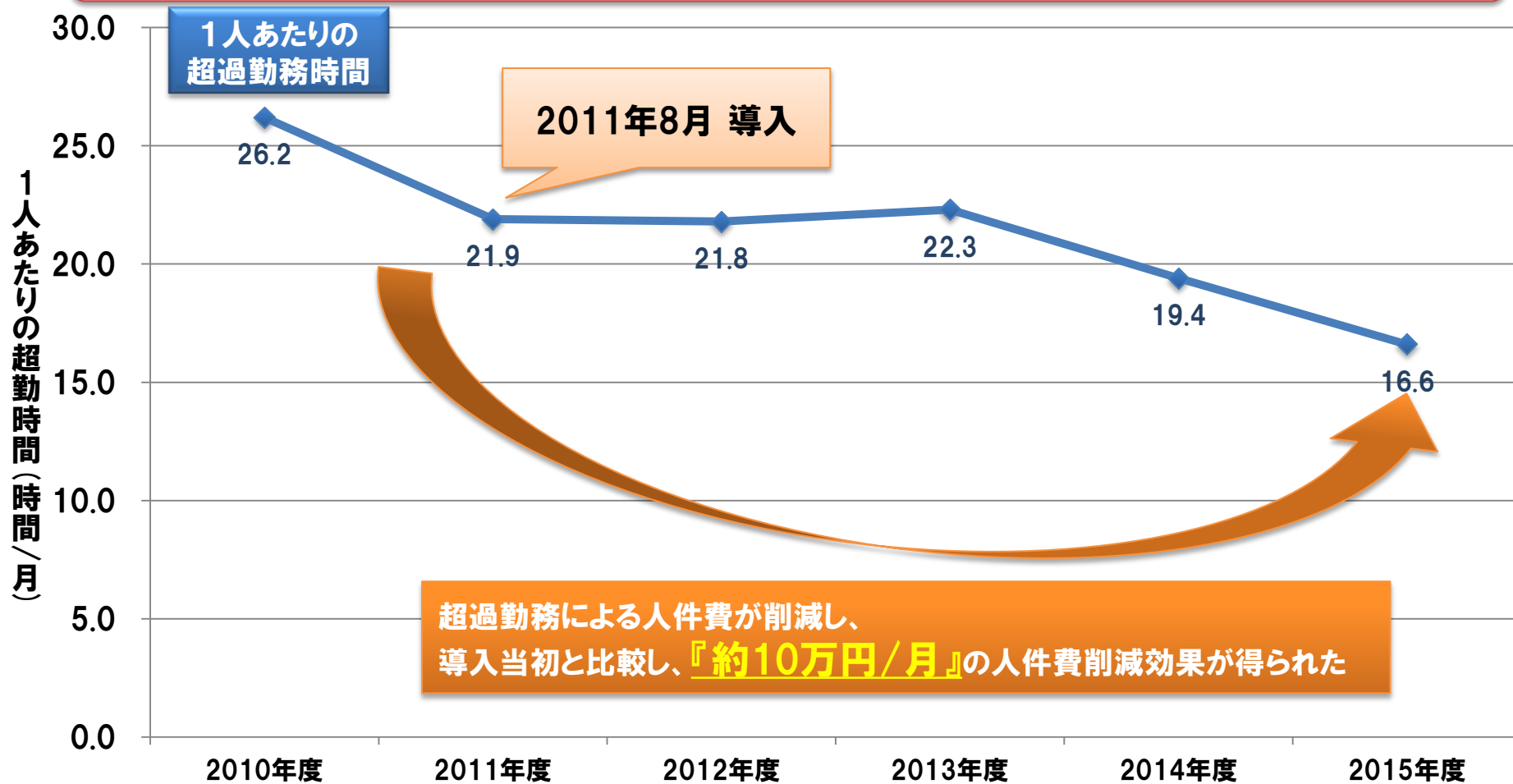




事例：補助者交代制勤務の導入効果

補助者交代制勤務

特定の病棟に対して、看護補助者の三交代制勤務を導入



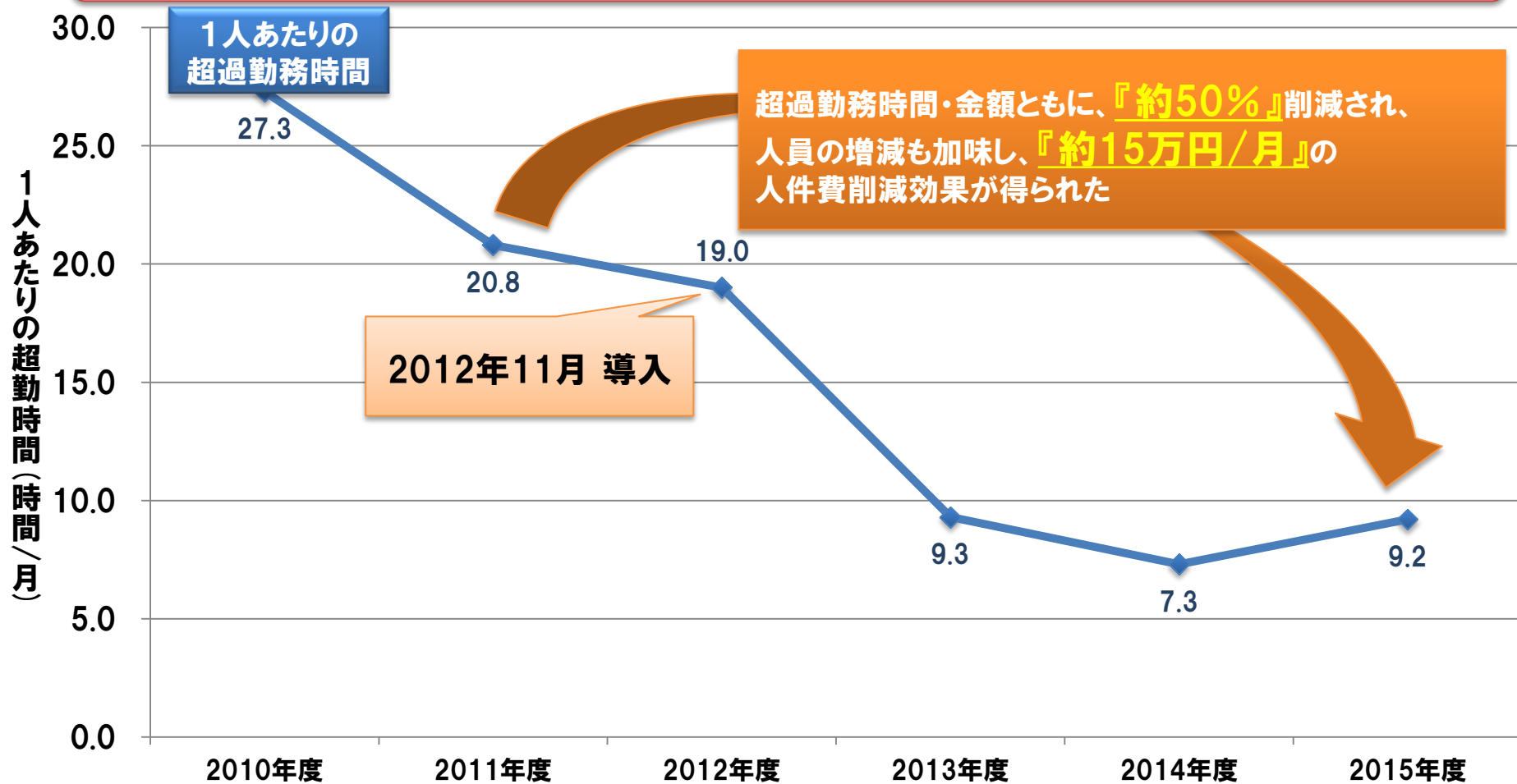
※ 2015年度は2015年4月～12月までの実績値の平均値



事例：二交代制勤務の導入

二交代制勤務

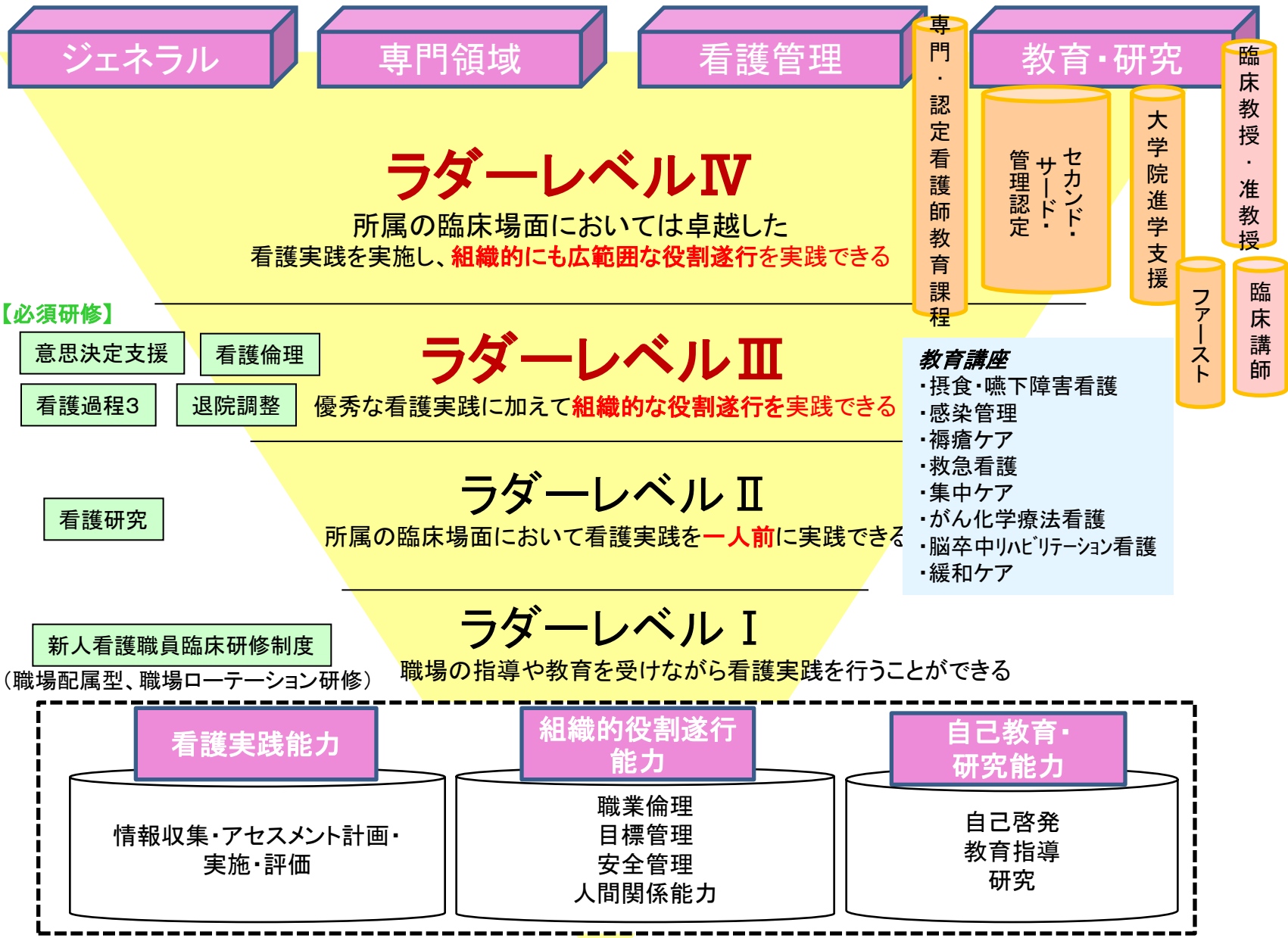
特定の病棟の勤務体制を三交代制(8時間×3)から二交代制(12時間×2)に変更



※ 2015年度は2015年4月～12月までの実績値の平均値

【看護部教育理念】

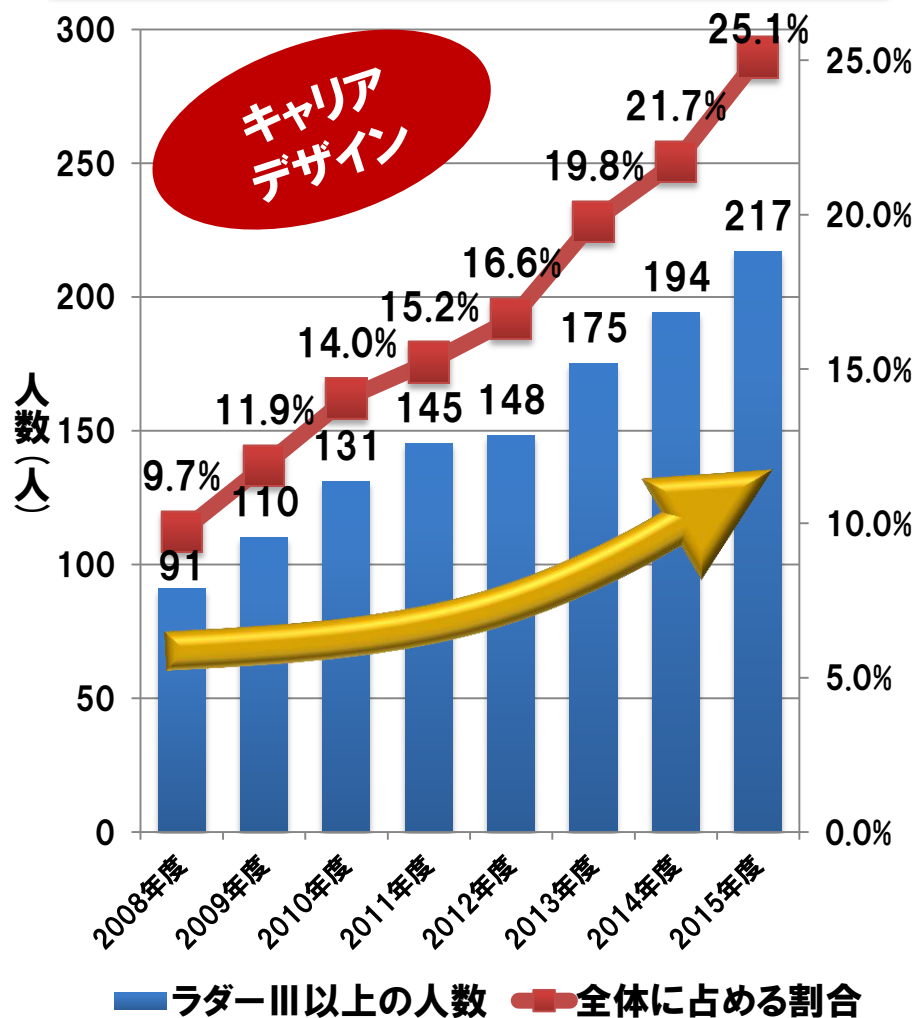
看護部の理念に基づき看護部の目指す看護を実現するために看護職員として専門知識・技術・態度を習得し、人として成長し続けていける人材を育成する



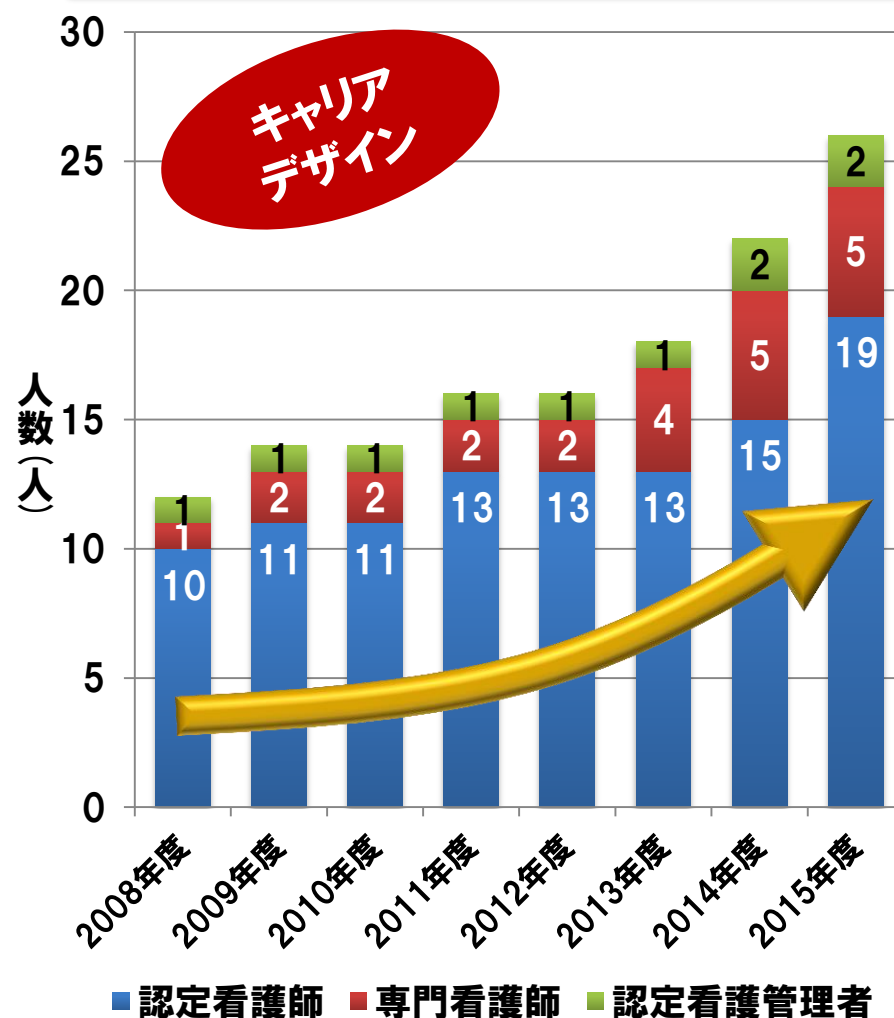


働きがいの向上

クリニカルリーダーⅢ以上の人数推移



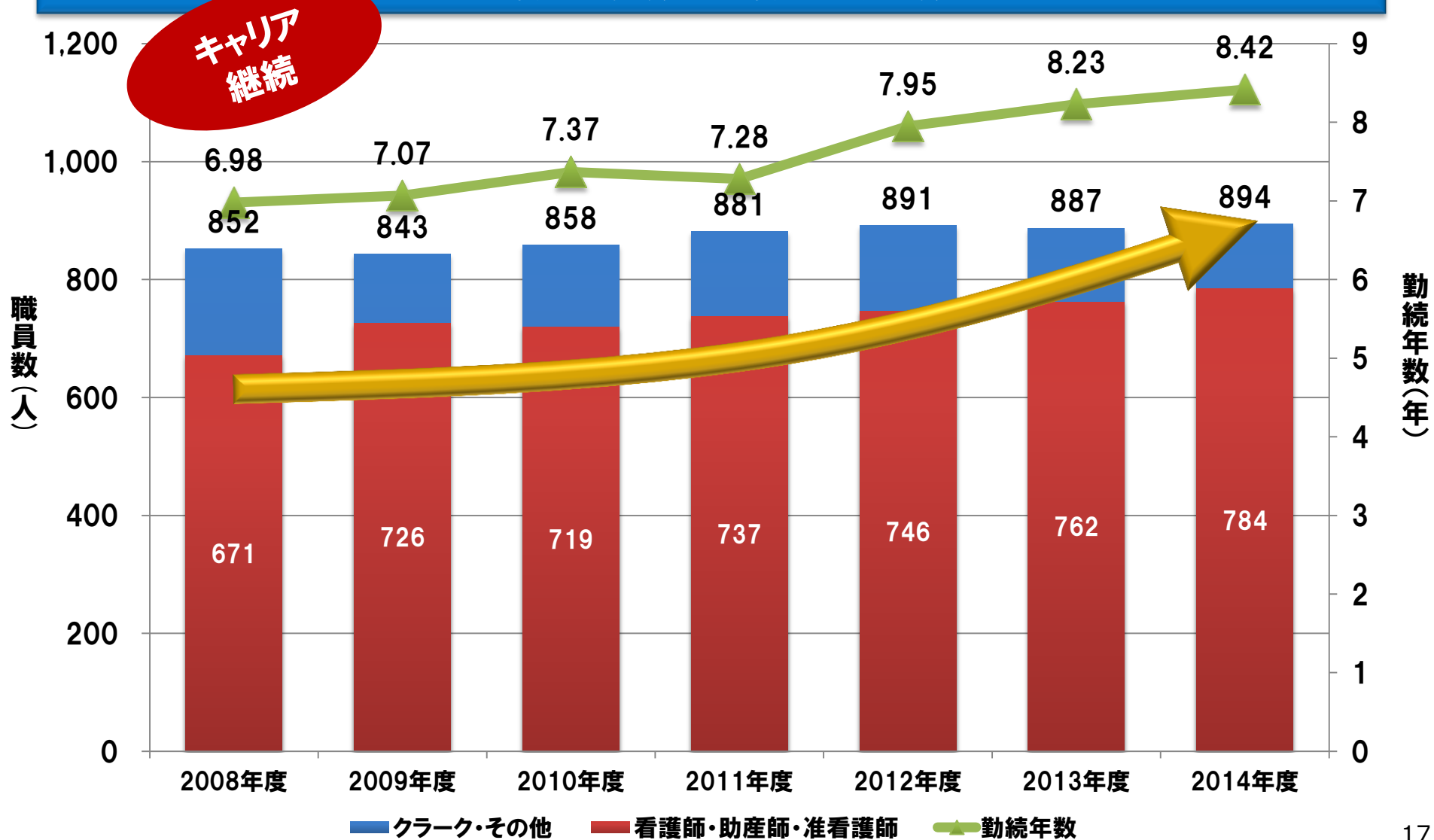
スペシャリストの人数推移





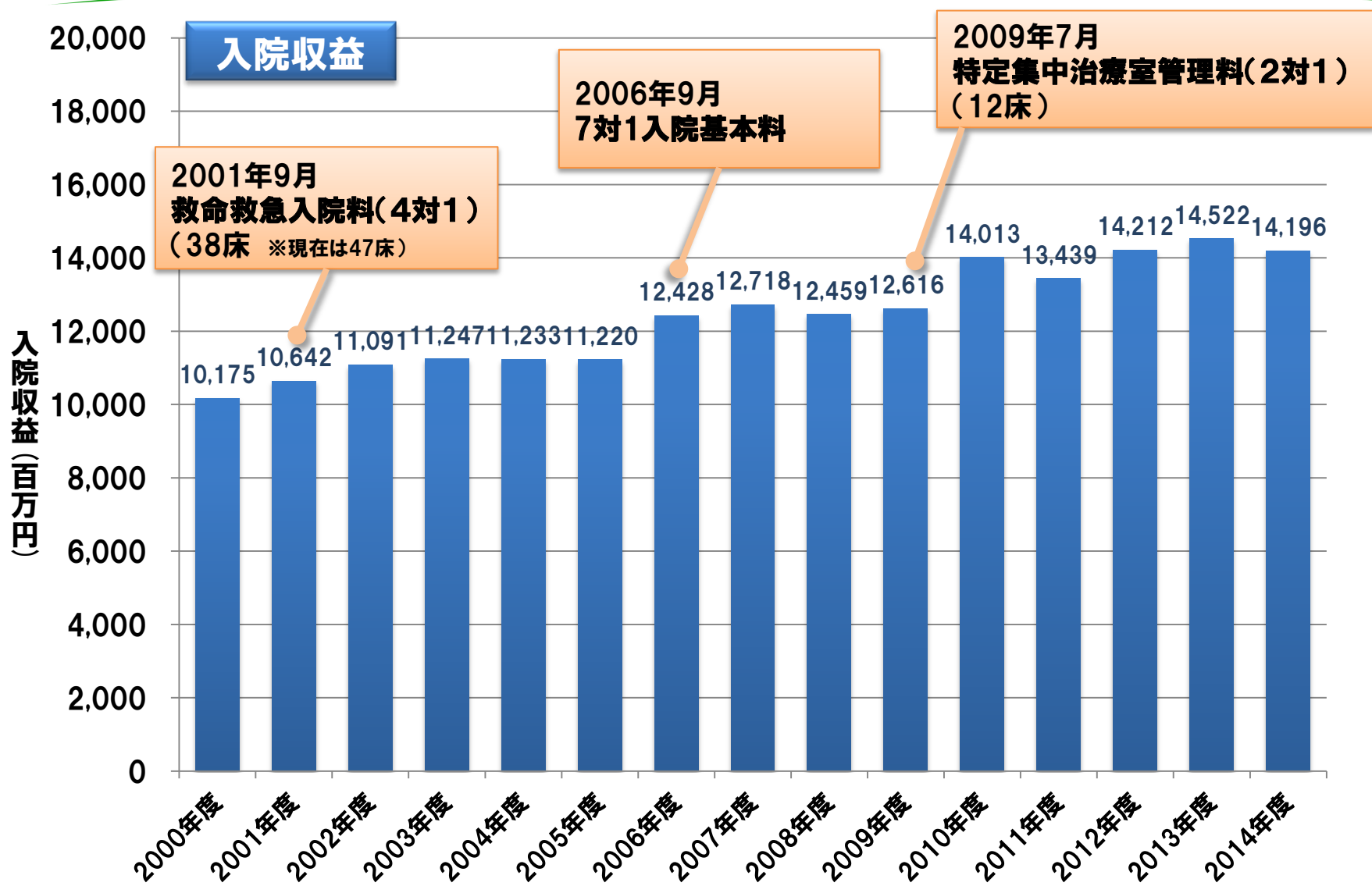
取組の成果(看護)

看護部職員数と看護師勤続年数



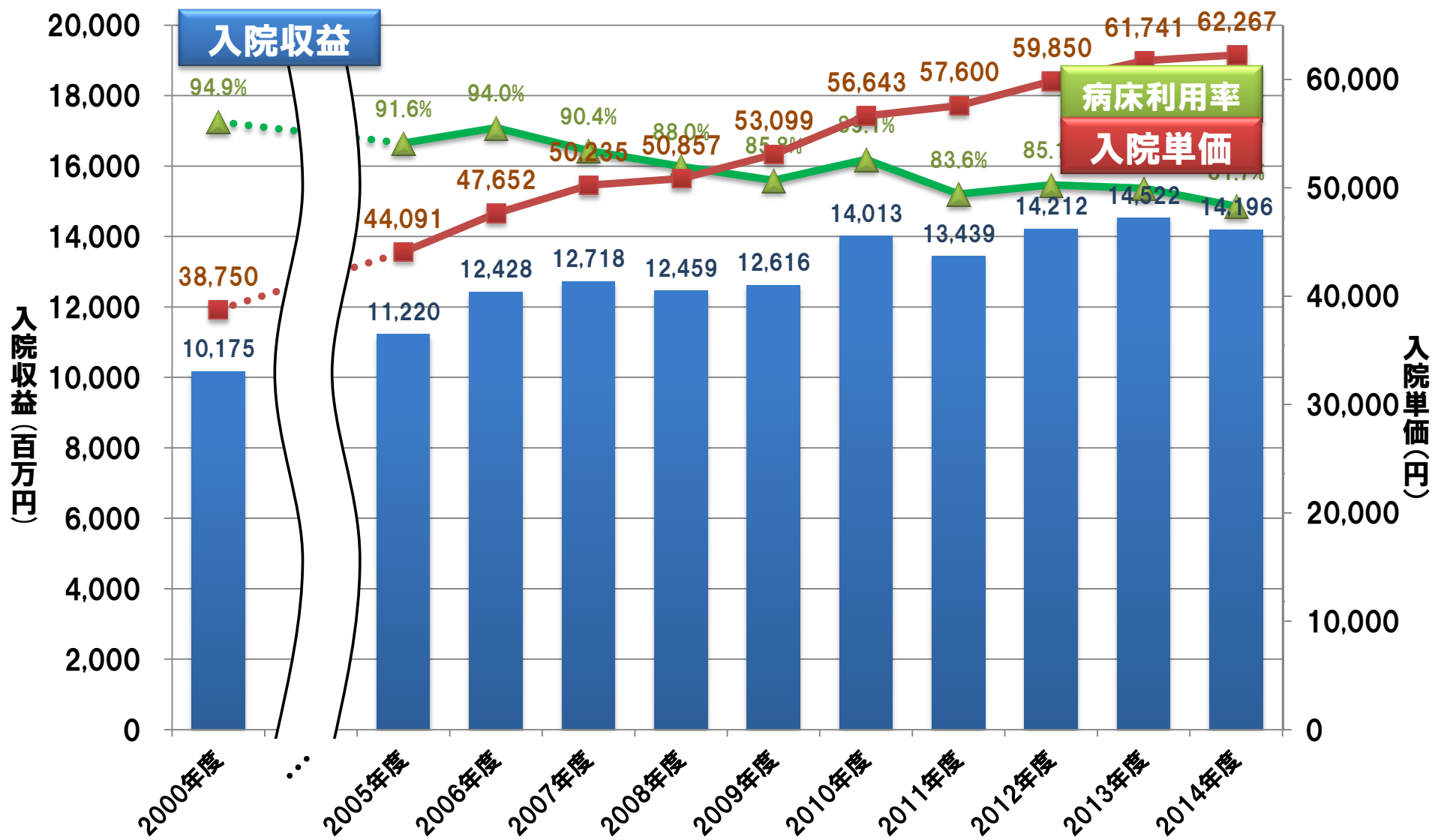


入院収益と特定入院料の算定



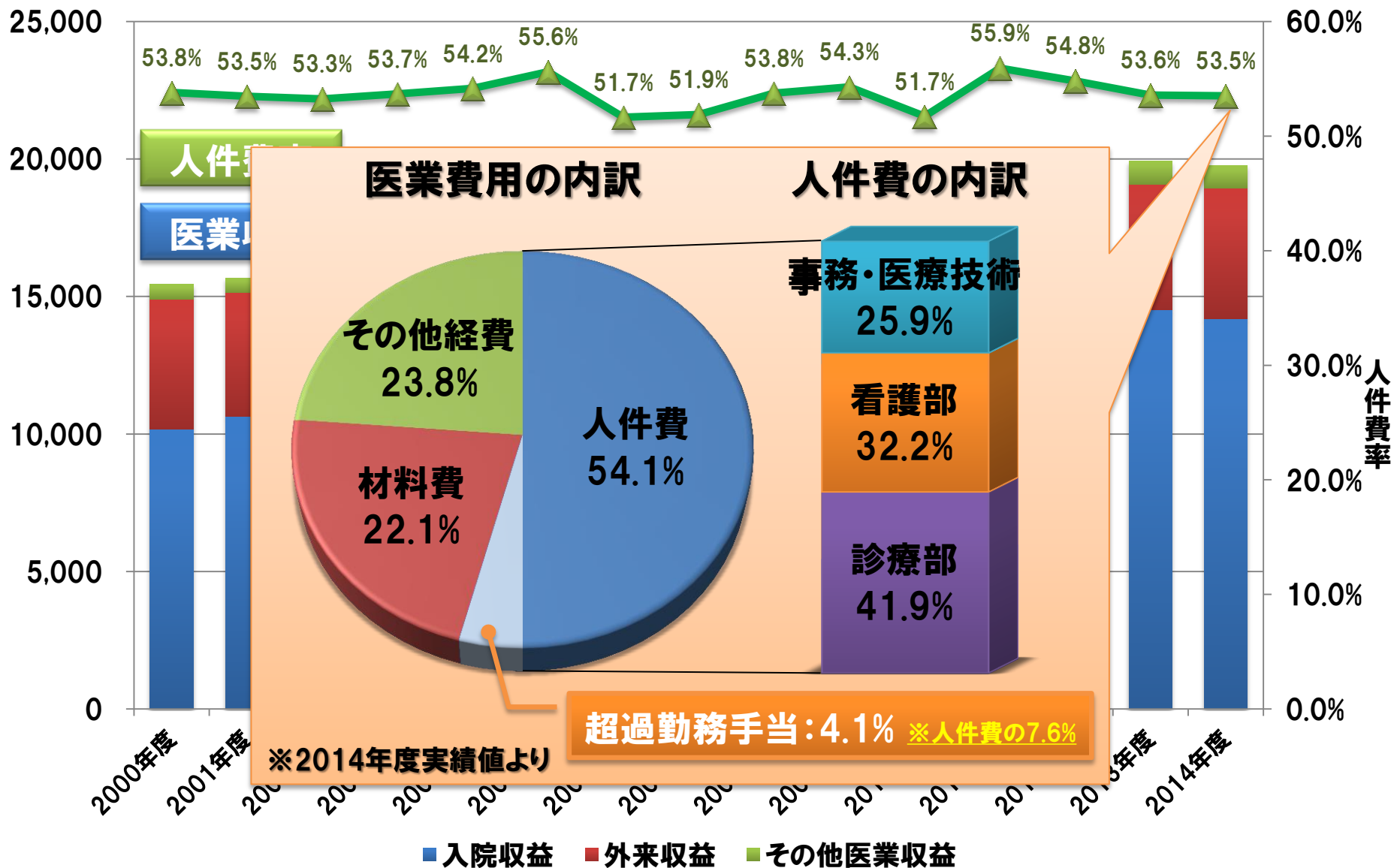


入院収益と入院単価



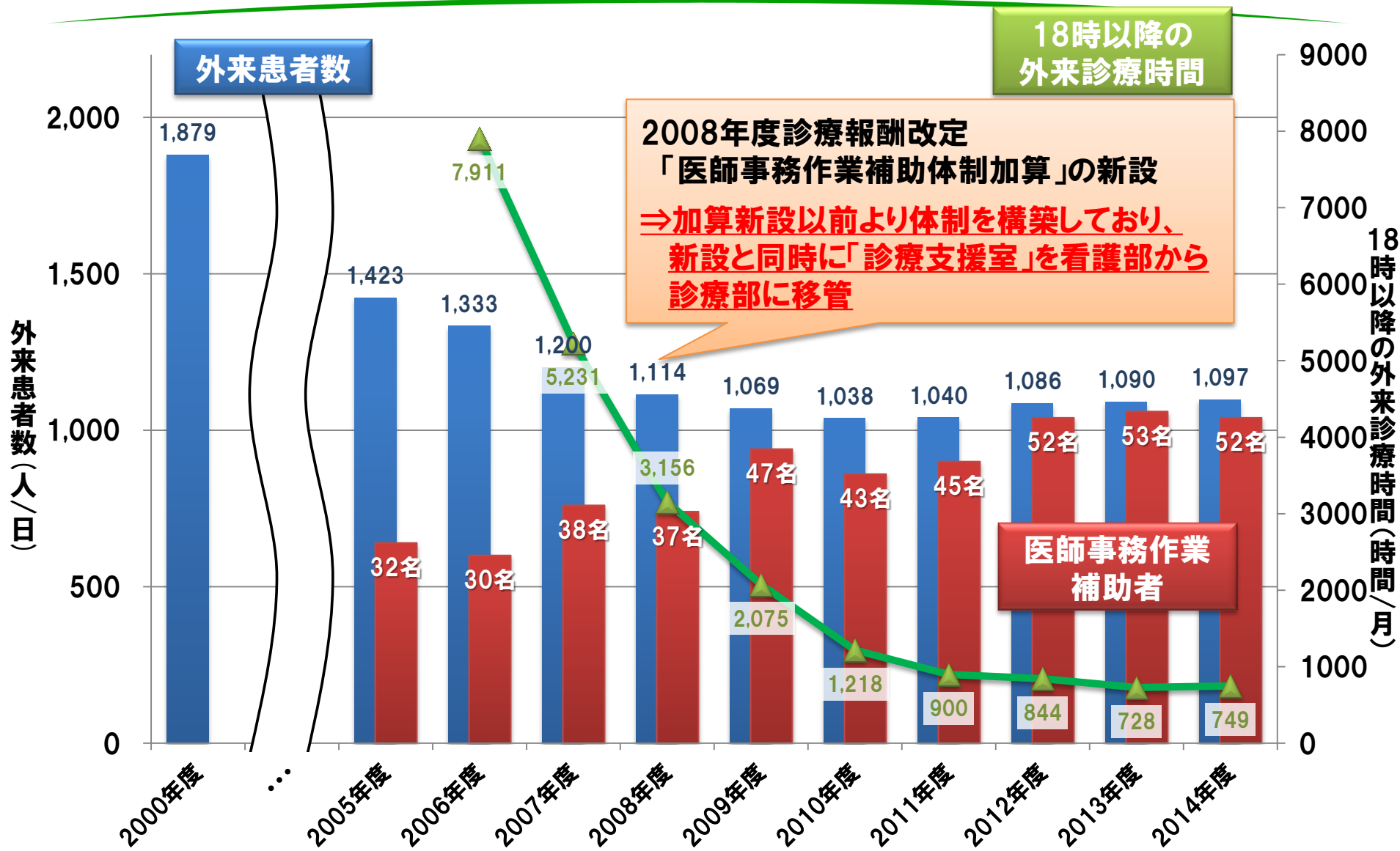


医業収益と人件費率





外来受診数と医師の負担軽減



※ 2006年度より外来診療時間の計測(データ蓄積)を開始



WLBの実現は経営に貢献する

